



最新の設備を備えた救急車を導入

## 東分遣所に新型救急車配置

an ambulance

阿久根地区消防組合は11月11日、新型救急車を東分遣所に配置しました。

新型救急車は、4WDで以前の救急車に比べ患者室が広く、活動スペースが大きくなっています。患者観察用資機材も充実し、将来、高規格車として運用できるような資機材の追加を考えた設計になっています。サイレンは、夜間の救

急出勤時などの騒音を防ぐため、ソフトでうるさくないハーモニックサウンド、フェイドインフェイドアウト機能を搭載した機材を採用しています。

平成9年7月から11年4カ月にわたり使用され、15万831<sup>キロ</sup>走行した旧車両は、今後は予備車として活用されます。



火災現場などで活躍が期待される消防自動車

## 湯ノ口班の消防自動車更新

a fire engine

12月13日、長島町消防団獅子島分団湯ノ口班の消防自動車が更新されました。

この車両は、全自動式小型動力ポンプ付軽消防自動車で、軽自動車に小型動力ポンプを積載し、電動油圧昇降装置で簡単に積み下ろしできるようになっています。

これまで使用されていた消防自動車は、平成4年に火災保険号として寄贈された車両で、配備後16年が経過し老朽が著しかったため更新されました。

今回の更新は、特定離島ふるさとおこし推進事業（消防施設整備）の補助を受けています。